



認定 NPO 法人
日越関西友好協会

所在地 大阪市中央区博労町 1 丁目 4 番 10 号
エステート博労町ビル 3F

TEL 06-6266-0562 FAX 06-6266-1192
URL <http://jva-k.org/>
E-MAIL jva@cure.ocn.ne.jp
発行責任者 石黒博俊

「ベトナム文化のつどい」盛大に開催される

1 月 26 日サンスクエア一堺において、在大阪ベトナム総領事館と堺市の主催による「2016 年旧正月祝賀ベトナム文化のつどい」がベトナムから芸術団を招聘して盛大に開催されました。

一弦琴や竹楽器などベトナム伝統楽器による演奏やユネスコ文化遺産であるバクニン地方の民謡などの歌・舞踊に加えて日本の「赤とんぼ」や「恋人よ」の歌が披露され満席の聴衆はうっとりしてベトナム文化を楽しみました。

なおこのつどいの開催にあたりビン在大阪総領事から寄付の協力依頼がありましたので各理事の皆さまにお願いし協会としてとりまとめ大池理事からベトナム芸術団に贈呈しました。



民族劇団と共にフィナーレ



民族劇団への支援金贈呈

テト（ベトナム正月）祝賀会盛大に開催される

1月27日「リーガロイヤルホテル大阪」において、在大阪ベトナム総領事館の主催によるテト（ベトナム正月）祝賀会が盛大に開催されました。行政代表者や関西在住ベトナム人・留学生、当協会会員など多数が参加し盛大に開催されました。来賓者を代表して西村会長が挨拶しました。



西村会長挨拶



歓談するビン総領事ご夫妻

第4回日越親善ゴルフコンペの開催について

当協会とベトナム総領事館の主催による第4回日越親善ゴルフコンペを開催します。

日時 4月8日（金） 8時28分スタート

場所 富士スタジアムゴルフ倶楽部 南コース
滋賀県甲賀市甲賀町五反田 574

開催要項の詳細は別途案内文書に記載しています。参加希望者はふるってご参加ください。

2016年初頭 私たちの日越友好

日越関西友好協会 理事 奥野 正美

2016年1月26日から27日は、テトを祝う文化友好の集いが堺、大阪のリーガロイヤルホテルで大盛況裏に開催された。

チャン・ドク・ビン総領事は、大阪、関西とベトナムの文化・経済の交流友好をさらに深め、人々の繁栄と平和の世界をともに築こうと真摯にさわやかに宣言された。

ベトナムでは2016年から2020年の5カ年計画を明確にして、社会・経済政策をすすめると。

今年は丙サル（申）の年で、丙は「明らか・盛ん」という意味があり、横に広がる性質があると言われている。申は シン（伸）で 伸びるという意味で、物事が進歩発展し、成熟までの伸びを表すと言われている。

日越友好の事業が「明らか・盛ん」になり、「伸び広がれ」ば良いと思います。

私たち NPO MOA（特定非営利活動法人 南大阪とアジアの平和友好の架け橋）は昨年の年末（2015年12月18日から23日の6日間）3年ぶりに第16次のベトナム訪問団を出しました。

- ・前大阪総領事（2代目）ファン・カム・トーさん夫婦や現役外交官で活躍されている娘さん夫婦との交流。
- ・日本語をベトナムで若者に教えることを通じて大阪・ベトナムの友好・交流を深めている NPO MOA のメンバーである浅田さんとの交流。
- ・枯葉剤被害者協会への訪問とカンパ。
- ・会長がアメリカに出張中で、副会長兼幹事長のグエン・テー・ルック教授らと交流した。
- ・ホイアン人民委員会との交流は、日曜日にもかかわらずソン副委員長はじめ職員の方々にお世話になった。
- ・残念ながら有名なホイアンの夜景は雨で濡れていた。
- ・これら交流以外に、陸のハロン（ニンビン）、ダナンから虐殺のソンミ村記念館、ミーソン遺跡、そして戦争博物館と精力的に回った。

特にベトさん・ドクさんのツーザー病院との交流では

- ・フーシー、ミンダオの双子の子供たち、ドクさん家族との交流もさることながら、
- ・長年、戦争の被害者である、障がいを持つ子供たちへの救済、自立支援を取り組んで来られた医師であり、平和村のリーダー、タンさんが引退されると聞いていて、後がどうなるか心配していたのですが、36歳の「平和村のミンさん」という若き女性リーダーに交代され、ご本人は500人の規模で、障がいを持つ子供たちを救済し、自立までサポートできる「オレンジ村」の設立（3年後に創る）プロジェクトで活動されるとお聞きした。

私たちのベトナムとの交流はちょうど20周年を迎えたことになりますがタン医師の新たなスタートに触発されて今後の日越友好に向けたNPO MOAの方向、取り組みを再確認するそんな1年に。

本年も宜しくお願いいたします。

ベトナム首相退任へ

党人事案 書記長は留任

ベトナムの次の指導体制を決める共産党大会(20、21日)を前に、党中央委員は最高指導者のグエン・フー・チョン書記長(71)を留任させる人事案をまとめた。交代政権との関係が深



グエン・フー・チョン書記長

く、中国にも強い態度を示してきた李列3位のグエン・タン・ズン首相(68)は退任する見通しとなった。ベトナムは共産党の1党支配体制で、原則3年ごと

の党大会で指導体制が決ま

る。朝日新聞が入手した人事案によると、李列2位のチュオン・タン・サン(66)も退き、チャン・ダイ・クアン(68)が新国家主席となる。新首相

にはグエン・スアン・フック副首相(61)が就くとされる。人事は党大会での審議を経てのちに、正式に確定する。

ベトナム 親日派の首相退任へ

新体制、日本側に不安の声

ベトナムの共産党大会が28日閉幕し、留任が決まったグエン・フー・チョン書記長(71)以下、19人の新指導部(政治局員)が発表された。大会でグエン・フー・チョン書記長は「経済の改革開放を進めると述べ、路線の継承を強調した。だが経済成長を牽引してきた親日派のグエン・タン・ズン首相(68)が退くことが決まり、日本側では新体制との関係を不安視する声もある。

位のズン首相が退任し、新たな政治局員の中から、新国家主席にチャン・タイ・クアン(68)が就任する。4位の国会議長には女性で初めてグエン・ティ・キム・ガン(61)が就任する。日本政府は、TPP参加など強いリーダーシップで経済開放をリードしてきた改革派のズン首相との関係が良好だった。ズン氏は、2期自任を争う間に権力基礎を築き、書記長レオスでも優位が伝えられていた。しかし党内に政敵も多く、終盤になってチョン書

記長らの保守勢力に覆された。日本大使館幹部は「新指導部も親日に変わりはな

い」としているが、経済界の一部には不安感が漂う。現地に進出している大手日系企業幹部は「経済発展の推進力という点で、パフォーミング、失速感はない」と話した。

ベトナムは今後、南北高速鉄道や高速道路網など複数の大型事業も控える。インフラ輸出を目指す日本としては、官民ともに、新指導部との新たな関係づくりを迫られそうだ。

日本政府にとっても一つ気がかりなのが、安全保障面だ。これまで安倍政権と歩調を合わせ、南シナ海への進出を強める中国に最も強い姿勢で対峙してきた

のはズン首相だった。チョン書記長は、中国やロシアとのパイプが太いと言われる。ただ大会では「主権と独立を守る」「軍を近代化させる」と語り、南シナ海問題で中国に妥協しない姿勢を示した。 (松々木孝)

ベトナム共産党大会開催

—新指導部が発足—

ベトナム共産党大会が1月20日～28日に開催され新たな指導体制が発表されました。朝日新聞のニュース(1月15日朝刊、29日朝刊)を掲載させていただきます。